

大会開催のためのガイドライン

～ 四国地区大学連盟 ～

愛媛大学ソフトボール部
松山大学ソフトボール部
香川大学男・女ソフトボール部
徳島大学ソフトボール部
四国大学ソフトボール部
高知大学ソフトボール部
高知工科大学ソフトボール部
四国地区大学連盟 役員

大会開催におけるガイドラインについて

四国地区大学ソフトボール連盟（四国地区に所属している各チームの学生を含む）は、ソフトボール協会の皆様、また、審判及び記録員をはじめとする関係者の皆様へ大会開催のご協力をお願いするにあたって、「With コロナ」「After コロナ」に向かう流れの中、ガイドラインを見直しました。

各チームが大会開催の可否に関わらず、引き続き、本ガイドラインを遵守し、このコロナ禍の環境下においても全力を尽くすことに努めます。

1. 大会開催の基準について（大会中止の要件）

以下の項目に当てはまる場合は、四国地区大学ソフトボール連盟において、開催の可否について協議を行うこととする。

- 1) 四国地区における登録チームの半数以上のチームがエントリーできなかった場合。
- 2) 各県において、県を越える行動制限が課せられた場合。
- 3) 開催都道府県（大会開催地）において、大会前日までに、1週間当たり人口10万人に15人以上の新規感染者数が確認された場合。また、大会開催地を含まない他の複数県において同様の感染者数が確認された場合。（※データ参照：JX 通信社 /FASTALERT）
- 4) 大会に参加する大学の校内でクラスターが発生した場合。

2. 大会開催期間前における感染予防対策について

- 1) 各チームにおける大会参加予定者は、大会開催2週間前から健康観察期間を設け、体調管理に留意する。
※1日1回、必ず検温し、健康観察記録をつける。
なお、その記録がない者は大会当日チームに同行できないこととする。
- 2) 外出する際は必ずマスクを着用するようにする。アルコールによる手指消毒、手洗いをを行う。また、出来る限り、不織布マスクの使用に努める。
- 3) 人が集まる可能性のある場所（繁華街など人気の多い場所）へ行くことを控える。
- 4) 練習以外、大人数（5人以上）での集まりは避ける。
- 5) 大会2週間前には県外への移動や帰省を行わない。（県外で滞在していても、二週間前には戻るようにする）。
- 6) 帰省している友人と会わない。
- 7) チーム内でミーティングを行う際は、できる限り Zoom 等の WEB 会議システムを利用する。やむを得ず対面でのミーティングを行う際は必ずマスクを着用する。

3. 大会開催当日の移動について（※移動時は、必ずマスクを着用することとする。各チームアルコール消毒液も所持しておく。）

- 1) 県を越えての移動となる場合であっても、公共交通機関は使用しない。
- 2) 集合場所で検温をする。
- 3) チームでの集合後は、速やかに大会開催されるグラウンドへ移動する。
- 4) サービスエリアなどの休憩所においても、チーム関係者以外との接触は限りなく避けるようにし、事前に計画的に行動するようにする。（感染者が出た際のために行動を記録しておく）。
- 5) 食事や試合時における必要物品の購入においても、チームの移動開始前（県を越える前）に行ったうえで大会開催県に入り、速やかにグラウンドへ移動する。
- 6) マスクを着用し、車での移動時なども安全を確保したうえで、定期的に換気を行いながら移動する。

4. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合前）

- 1) グラウンド到着後は、速やかに大会本部へ到着の報告を行い、その指示に従う。
- 2) 試合開始までは、他のチーム同士が接触を行わないように行動する。
- 3) 試合中と同様に同チーム内でも接触をなるべく避ける。
- 4) グラウンド内でも可能な限り、マスクを着用する。
また、会話も必要最低限のものに留める（試合に関する事のみ）。
- 5) ベンチへの入場及び退場は速やかに行う。

5. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合中）

- 1) 試合の開始や終了（挨拶等）については、審判の指示に従う。
- 2) ベンチ内では、可能な限りソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つように配慮する。
- 3) 出場選手も含めベンチ内では可能な限り、マスクを着用する。
- 4) 選手は指をなめないように十分に注意する。目や目元を触れる場合には、手を洗うか消毒するなどして行う。
- 5) バットはなるべく同一の選手が回収を行う。回収後には、そのバットを適切に消毒することを推奨する。
- 6) イニング終了時など、適宜、ヘルメットやバットの消毒を行う。
- 7) 打ち合わせ（タイム）の際は、常にソーシャルディスタンスを保つよう配慮する。
- 8) ベンチ内の飲水用コップ、タオル、ロジンバック、メガホン等は共用しない。
- 9) 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触を避ける。
- 10) 試合終了時にはベンチを消毒する。

6. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合後）

- 1) 試合の終了後は、速やかにグラウンドから移動し、各チームが自県に戻るよう行動する。
- 2) 帰省途中での休憩所や食事の購入のための立ち寄りも可能な限り控え、チーム関係者以外との接触は限りなく避けるようにする。
(万が一、陽性者との接触が認められた場合、保健所の判断によるが、大会参加者全員の行動把握が必要になるケースも想定し、行動を行う。)
- 3) マスクを着用し、車での移動時なども安全を確保したうえで、定期的に換気を行いながら移動する。
- 4) 大会後大人数（5人以上）での打ち上げは避ける。
- 5) 大会開催 2 週間後まで健康観察期間を設け、体調管理に留意する。

7. その他

- 1) 厚生労働省が開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」を各チーム関係者がインストールし、活用することとする。
- 2) 大会終了後、2 週間以内に新型コロナウイルス感染の症状がでた場合は、速やかに四国地区大学連盟に報告することとする。